

第20回動脈硬化教育フォーラムを開催して

2020年2月2日に東京都新宿区の京王プラザホテルの4会場にて、第23回診断技術向上セミナーとの共催で、第20回動脈硬化教育フォーラムをお世話させていただきました。「進撃の動脈硬化—すこやかな血管のために」をテーマに掲げ、プログラムには、特別企画として「医療分野における人工知能(AI)利用」と「動脈硬化における網羅的遺伝子解析」の2演題、シンポジウム「診療ガイドラインの動向」では、「高血圧治療ガイドライン2019」、「糖尿病患者における動脈硬化性疾患予防」、「高リスク病態への対応」の3演題、教育講演は「血栓症の病理」「統合的介入による糖尿病血管合併症予防」「肥満外科治療」「SOAT2選択的阻害薬の創薬」を取り上げました。



石橋 俊 会長 開会の辞

市民公開講座は「今からでも遅くない、動脈硬化予防」をテーマに、2つの講演とギターの弾き語りで構成させていただきました。医学倫理教育セミナーでは「研究倫理指針の改定」、管理栄養士セミナーでは「家族性高コレステロール血症」、高血圧・循環器病予防療養指導セミナーでは「喫煙」と「危険因子の疫学」が取り上げられました。共催セミナーとして、3つのランチョンセミナー以外に、スピンサードシンポジウムとコーヒブレイクセミナーを共催いただきました。

診断技術向上セミナーにおいても11本の講義と7本のハンズオンセミナーが実施されました。



会場入り口



特別企画「人工知能・ビッグデータサイエンス」



シンポジウム「診療ガイドラインの動向」

前年の12月に中国湖北省武漢で発生した新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)感染症(COVID-19)が中国で爆発的な拡がりをみせ、1月には日本での感染例も報告され、1月31日は世界保健機関(WHO)から「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態(PHEIC)」が宣言され、集会開催も危ぶまれている中での開催であり、一時は中止の選択肢もありかと思われました。参加者の安全のために、会場には手指消毒用のアルコールやマスクを用意して臨みました。その後、大規模イベントの中止、一部の海外への渡航や帰国制限が勧告されているのはご承知の通りです。お陰様で400名を超える方々にご参加いただき、幸運にも本集会から感染者のクラスターも出さず、盛会裏に終了することができました。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と、ここに深く感謝申し上げます。

第20回動脈硬化教育フォーラム

会長 石橋 俊

自治医科大学 内科学講座 内分泌代謝学部門



診断技術向上セミナー ハンズオン



高血圧・循環器病予防療養指導士セミナー



管理栄養士セミナー



市民公開講座